

2 まとめ

平成28年度の各がん検診精検受診率は、ほとんどの検診の精検受診率が前年度の値を下回っている中、大腸がん検診の精検受診率だけが前年より5.1%低下し、60.7%と各がん検診中、最も低かった。また、がん検診の事業評価に関する委員会報告書に示されているがん検診精検受診率の許容値を満たしていないのも、大腸がん検査だけであった。

現在、精検受診率向上対策として、人間ドック当日の保健師による受診勧奨の実施や受診希望医療機関宛ての紹介状作成等に取り組んでいるが、今後は更に受診勧奨の強化を図っていくことが必要と考える。